

水噴射でウメの省力摘果

摘果作業で大玉果生産と樹勢維持

摘果作業を行うと大玉でグリーンの鮮やかなウメを生産することができる。また、摘果作業は毎年の着果量を安定させ、樹勢維持の効果も期待できる。しかし、ウメは果実が小さいため、摘果作業には多大な労力がかかり、摘果作業適期も短い。

そこで、動力噴霧器と霧ナシノズルを利用した省力摘果法を紹介する。



噴

射摘果用ノズル

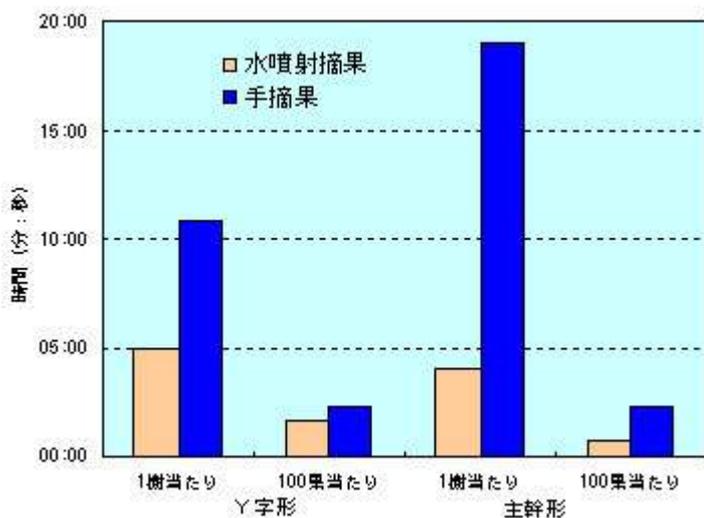
孔径1.9～2.0mmの霧ナシノズルを使用する。

(下は農薬散布用ノズルで手元で切り換えることができる) 動力噴霧器の圧力は20kg程度。



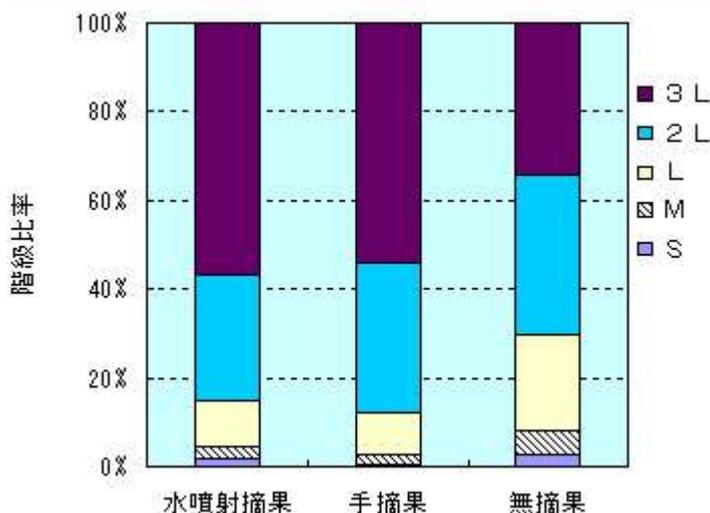
水噴射摘果作業

結果枝の下側約20cmから噴射する。1結果枝に数秒噴射して果実を落果させる。



水噴射摘果によるウメの摘果能率

水噴射を利用すると、手作業の2分の1から4分の1の労力で摘果することができる。



ウメの摘果方法と階級比率

果実肥大効果は手作業による摘果と同等である。

以下の関連ページもご覧下さい。

[水噴射摘果によるウメの省力摘果法](#)

(実用化レポートNo.6)

[水噴射によるウメの省力摘果](#)

(果試ニュースNo.87)

問い合わせ先 徳島県果樹研究所県北分場 TEL088-694-2712、FAX088-694-2526